

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	市民政策提案制度事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり			
政策(中項目)	1	新しいかたち・市民参加都市なると	事業期間	開始	平成 ▼ 20 年度
(小項目)		市民参画			終期
施策	3	開かれた行政と市民参画の推進			
基本事業	2	出前市長室の開催と広報広聴業務の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内に在住・在勤・在学している個人及び団体														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民等からの提案を募集し、採択することにより、市民等の意見や考え方を市政に反映し、ともに歩む市民参加のまちづくりを実現する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	提案者数	10	10	10	10	10	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
提案者数	10	10	10	10	10	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市民提案制度の充実として、自治基本条例が制定されたことから、市との協働事業について市民提案を募集し、優秀な提案の事業化に取り組んだ。また、未来を担う中学生・高校生からの提案をあわせて募集を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 採択件数	3	4	5	5	5	件
	2 事業化した提案数	1	3	3	3	3	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	提案者数	6	19	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			190.0	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	7	10	10	10	10	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	7	10	10	10		10
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		130	130	130	130	130	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		137	140	140	140	140	千円	

【事務事業名：市民政策提案制度事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	事業主体を市に限定せず、市民協働という形での提案を実施したが、2件しか応募がなかった。中学生・高校生の提案が予想よりも多く、17件も応募があった。この状況を踏まえながら、募集方法やテーマ設定などを検討しながら、制度の方向性を明確にし、事業を推進していく。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	行政の視点からではなく、市民の視点による、行政と市民との協働によるまちづくりの推進、並びに政策提案の機会として本事業は必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 開かれた行政と市民参画の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民等から、多くの提案がいただけるように募集内容等の検討を図る必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				